

FOR RELEASE - Jan. 28, 2026

コーニング、堅調な 2025 年業績⁽¹⁾を発表 財務プロファイルの大幅改善を踏まえ、売上成長の加速に向けて 「スプリングボード」計画を上方修正

ニューヨーク州コーニング- [コーニングインコーポレイティッド](#) (NYSE: GLW) は本日、2025 年第 4 四半期および通年の業績ならびに 2026 年第 1 四半期の見通しを発表しました。

ニュースサマリー:

2025 年第 4 四半期および通年の業績は過去最高、2026 年第 1 四半期も成長継続と予想:

- 第 4 四半期のコア売上高は、前年同期比 14%増の 44 億 1,000 万 US ドル、コア一株利益は同 26%増の 0.72US ドル
- 2025 年通年のコア売上高は、前年比 13%増の 164 億 1,000 万 US ドル、コア一株利益は同 29%増の 2.52US ドル
- 経営陣は、第 1 四半期のコア売上高は前年同期比で最大 15%増の 42~43 億 US ドル、コア一株利益は 0.66~0.70US ドルに増加すると予想

「スプリングボード」計画の開始より、コーニングは財務プロファイルの変革を推進（2023 年第 4 四半期から 2025 年第 4 四半期までの推移）:

- コア営業利益率は 390 ベースポイント（3.9%）増の 20.2%、コア投資資本利益率（ROIC）は 540 ベースポイント（5.4%）増の 14.2%
- 2025 年通年の調整後フリーキャッシュフローは 17 億 2,000 万 US ドルと、2023 年比でほぼ倍増

当社経営陣、「スプリングボード」計画を上方修正（2023 年第 4 四半期を起点）:

- 内部計画において、2028 年末までに通年売上高 110 億 US ドル増に修正（当初計画では 80 億 US ドル）
- 内部計画において、2026 年末までに通年売上高 65 億 US ドル増に修正（前回計画では 60 億 US ドル）

- 保守的計画において、2026 年末までに通年売上高 57 億 5000 万 US ドル増に修正（前回計画では 40 億 US ドル）
 - (1) 第 4 四半期 GAAP 業績：売上高 42.2 億 US ドル、粗利益率 35.5%、営業利益率 15.9%、一株利益 0.62US ドル、営業キャッシュフロー 10 億 5,000 万 US ドル。通年 GAAP 業績：売上高 156 億 3,000 万 US ドル、粗利益率 36.0%、営業利益率 14.6%、一株利益 1.83US ドル、営業キャッシュフロー 27 億 US ドル。

ウエンデル P. ウィークス会長、CEO 兼社長は、次のように述べています。「2 年前の『スプリングボード』計画開始より、財務プロファイルの変革を進めてきました。その結果、2023 年第 4 四半期から 2025 年第 4 四半期までの間に、コア営業利益率は 390 ベースポイント（3.9%）増の 20.2%、コア投資資本利益率（ROIC）は 540 ベースポイント（5.4%）増の 14.2%となりました。また、2025 年通年の調整後フリーキャッシュフローは 17 億 2,000 万 US ドルと、ほぼ倍増しています。今後の成長に向けて、高い収益性を誇る基盤を固めることができました。」

ウィークスは続けて、次のように述べています。「喜ばしいことに、我々はさらに強力な長期的成長の機会を手にしています。そこで現在、我々は『スプリングボード』計画の上方修正を行っています。2028 年末までの通年売上高について、当初計画の 80 億 US ドル増から 110 億 US ドル増に引き上げました。」

エド・シュレジンジャー、エグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO は、次のように述べています。「2025 年、コア売上高は 2 桁台の成長を達成しました。さらに、コア一株利益は売上高の 2 倍のペースで、また調整後フリーキャッシュフローは 3 倍のペースの成長を遂げています。コア営業利益率は 180 ベースポイント（1.8%）、ROIC は 120 ベースポイント（1.2%）向上しました。財務プロファイルが大幅に強化され、上方修正した『スプリングボード』成長計画に基づき、今後さらに多くの利益とキャッシュを創出する体制が整いました。」

シュレジンジャーは続けて、次のように述べています。「素晴らしい勢いを保ったまま 2026 年を迎えることができました。第 1 四半期も成長は加速すると予想しており、コア売上高は前年同期比で約 15%増の 42~43 億 US ドル、コア一株利益は 0.66~0.70US ドルと見込んでいます。そして、現在『スプリングボード』計画の上方修正を行っています。2026 年末までの通年売上高について、前回内部計画では 60 億 US ドル増、実現性の高い計画では 40 億 US ドル増としていましたが、それぞれ 65 億 US ドル増、57 億 5,000 万 US ドル増に修正しました。」

2025 年第 4 四半期ハイライト：

- GAAP 売上高は 42 億 2,000 万 US ドル。コア売上高は前年同期比 14%増の 44 億 1,000 万 US ドル。

- GAAP 一株利益は 0.62US ドル。コア一株利益は前年同期比 26%増の 0.72US ドル。GAAP 一株利益とコア一株利益の差には、為替換算調整契約および外貨建て債務に関連するノンキャッシュ時価評価調整、為替変動の影響調整が含まれる。
- GAAP 粗利益率は 35.5%。コア粗利益率は 38.1%。
- GAAP 営業利益率は 15.9%。コア営業利益率は 20.2%。
- GAAP 営業キャッシュフローは 10 億 5,000 万 US ドル、調整後フリーキャッシュフローは 7 億 3,200 万 US ドル。

2025 年通年ハイライト：

- GAAP 売上高は 156 億 3,000 万 US ドル。コア売上高は前年同期比 13%増の 164 億 1,000 万 US ドル。
- GAAP 一株利益は 1.83US ドル。コア一株利益は前年同期比 29%増の 2.52US ドル。GAAP 一株利益とコア一株利益の差には、為替換算調整契約および外貨建て債務に関連するノンキャッシュ時価評価調整、為替変動の影響調整が含まれる。
- GAAP 粗利益率は 36.0%。コア粗利益率は 38.4%。
- GAAP 営業利益率は 14.6%。コア営業利益率は 19.3%。
- GAAP 営業キャッシュフローは 27 億 US ドル、調整後フリーキャッシュフローは 17 億 2,000 万 US ドル。

コーニングと Meta 社、[最大 60 億 US ドル規模の複数年契約を発表](#)：

- この長期的パートナーシップ締結は、米国の次世代データセンターを支える基幹技術の開発、革新、製造に対する当社のコミットメントを反映するものです。

2025 年第 4 四半期および通年の業績と比較

(単位は百万 US ドル。ただし一株利益の金額を除く。)

業績 (GAAP)

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年比
純売上高	\$4,215	\$4,100	\$3,501	3%	20%	\$15,629	\$13,118	19%
純利益 (1)	\$540	\$430	\$310	26%	74%	\$1,596	\$506	215%
希薄化後 一株利益	\$0.62	\$0.50	\$0.36	24%	72%	\$1.83	\$0.58	216%

(1) コーニングインコーポレイティッドに帰属する GAAP 純利益

コア業績 (Non-GAAP) (1)

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年同期比
コア売上高	\$4,412	\$4,272	\$3,874	3%	14%	\$16,408	\$14,469	13%
コア純利益	\$624	\$585	\$497	7%	26%	\$2,199	\$1,699	29%
コア一株利益	\$0.72	\$0.67	\$0.57	7%	26%	\$2.52	\$1.96	29%

(1) Non-GAAPによる数値。GAAPによる数値と Non-GAAPによる数値の調整については、このニュースリリースに続く表や当社ウェブサイトをご覧ください。

2025 年第 4 四半期および通年の部門別業績

(単位：100 万 US ドル)

以下の 2025 年第 4 四半期および通年の業績は、コーニングの連結財務諸表に記載されている部門別報告に基づいて作成しています。

2025 年 1 月 1 日より、オートモーティブガラスソリューション事業およびエンバイロメンタルテクノロジー事業を、新設したオートモーティブ部門に移管しました。比較情報は、コーニングの部門報告の変更に合わせて再計算しています。

オプティカルコミュニケーション部門

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年比
純売上高	\$1,701	\$1,652	\$1,368	3%	24%	\$6,274	\$4,657	35%
純利益	\$305	\$295	\$194	3%	57%	\$1,048	\$612	71%

ディスプレイ部門

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年比
純売上高	\$955	\$939	\$971	2%	(2%)	\$3,697	\$3,872	(5%)
純利益	\$257	\$250	\$262	3%	(2%)	\$993	\$1,006	(1%)

スペシャリティマテリアルズ部門:

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年比
純売上高	\$544	\$621	\$515	(12%)	6%	\$2,211	\$2,018	10%
純利益	\$99	\$113	\$81	(12%)	22%	\$367	\$260	41%

オートモーティブ部門

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年比
純売上高	\$440	\$454	\$446	(3%)	(1%)	\$1,794	\$1,846	(3%)
純利益	\$63	\$68	\$61	(7%)	3%	\$278	\$261	7%

ライフサイエンス部門:

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	2025 通年	2024 通年	前年同期比
純売上高	\$246	\$242	\$250	2%	(2%)	\$972	\$979	(1%)
純利益	\$14	\$16	\$18	(13%)	(22%)	\$61	\$63	(3%)

ハムロックおよび新規成長事業部門

	Q4 2025	Q3 2025	Q4 2024	前四半期比	前年同期比	FY 2025	FY 2024	前年同期比
純売上高	\$526	\$364	\$324	45%	62%	\$1,460	\$1,097	33%
純利益 (損失)	\$1	(\$1)	\$10	*	(90%)	(\$26)	\$42	*

今後の説明会について

2月27日、コーニングは第15回サスケハナ・アニュアル・テクノロジー・カンファレンスに参加します。また、3月3日には、モルガン・スタンレー・テクノロジー・メディア&テレコム・カンファレンスに参加します。また、当社経営陣が一部都市の投資家オフィスを訪問予定です。最新情報については、当社ウェブサイトの「Investor Relations」ページをご覧ください。

<https://investor.corning.com/investor-relations/default.aspx>

第4四半期のカンファレンスコールについて

コーニングは1月28日（水）の東部標準時午前8時30分より、第4四半期のカンファレンスコールを開催します。ご参加の場合、コール開始前にこちらから事前登録いただけます。必要事項をすべてご入力の上、「Register」をクリックしてください。電話番号およびPINコードが自動生成され、画面にポップアップ表示されます。「Dial In」またはシステムによる「Call Me」機能を選択できます。また、ダイヤルインに関する情報を記載した確認メールをお送りします。ライブオーディオウェブキャストをお聴きになるには、コーニングの「Investor Relations」イベントページをご覧ください、指示に従ってください。

[https://register-conf.media-](https://register-conf.media-server.com/register/B1aa9bc0c0fb6149dcb7cb1a9eab965c60)

[server.com/register/B1aa9bc0c0fb6149dcb7cb1a9eab965c60](https://register-conf.media-server.com/register/B1aa9bc0c0fb6149dcb7cb1a9eab965c60)<https://investor.corning.com/news-and-events/events-and-presentations/default.aspx>

本プレスリリースの情報の表示について

本ニュースリリースには、Non-GAAP 財務指標が含まれます。Non-GAAP 財務指標は、GAAP に準拠するものではなく、GAAP に代わるものでもありません。コーニングの Non-GAAP 財務指標は、一般的な経済状況や企業活動において基本となるファンダメンタルズやトレンドを反映していないイベントを原因とする事項の影響を排除しています。コーニングは、Non-GAAP 財務指標を開示することにより、当社の基本的な業績トレンドが見えづらくなる事項の影響を除いた上で、財務成績の分析を行うことが可能になると考えています。これらの Non-GAAP 財務指標の定義および、直接比較可能な GAAP 財務指標との調整については、当社ウェブサイトでご確認いただけます。「Investor Relations」ページにアクセスいただき、「Financials and Filings」タブ内の「Quarterly” Results」をクリックしてください。これらの調整は、本ニュースリリースにも適用されています。

将来見通しに関しては、当社経営陣が外国通貨の対米ドル為替レート動向やその他当社の経常的業務を反映しない事項、未発生事項、経営陣が抑制できない事項について予測することはできないため、これらの Non-GAAP 基準について調整結果を提示することはできません。そのため、経営陣は GAAP ベースの見通し情報についても提示することはできません。

将来の見通しに関する注意点

本リリースおよびマネージメントのコメントにおいて、過去の事実または情報ではない記述や、「will（～になる）」、「believe（～と考えている）」、「anticipate（～と予測する）」、「expect（～と予想している）」、「intend（～する意向

である)「plan (～を計画している)」、「seek (～を試みる)」、「see (～と見込んでいる)」、「would (～だろう)」、「target (目標とする)」、「estimate (～と見込む)」、「forecast (～と予想する)」またはその他類似の表現を含む記述はすべて「将来の見通しに関する記述」です。こうした記述は、1995年米国民事訴訟改革法の「セーフハーバー」規定に沿ったものであり、経済、競合、法制度の変化に関連する予測や想定が含まれます。また、程度の差はあれ、本質的には不確実である将来の事象に関する記述となります。これらの将来の見通しに関する記述は、とりわけ、当社『スプリングボード』計画、将来の業績、新規および既存市場における当社のシェア、当社の収益および利益成長率、技術革新および新製品の商商品化に関する当社の能力、当社の予想される設備投資、および当社のコスト削減施策・価格設定改善策の実施（製造能力の最適化を含む）に関連しています。

当社は、これらの将来の見通しに関する記述について、とりわけ、現在の見通し・予測、一般的な経済状況、当社の事業に関する知識、および当社に影響を与える主要業績評価指標に関する合理的な仮定に基づいていると考えていますが、実際の結果は大きく異なる可能性があるため、これらの将来の見通しに関する記述が正確であることを証明する保証はありません。当社は、適用される証券取引法で義務付けられている場合を除き、状況または経営陣の見積もりや見解が変更された場合でも、将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

将来の見通しに関する記述で明示的ないし暗示的に表明した予想と、実際の結果との大きな乖離の原因となり得るリスク、不確実性その他要因には次のようなものがありますが、これらに限るものではありません。世界経済の動向、競争リスク、地政学的リスク、米国とその他の国との間の制裁、関税、その他の貿易摩擦の激化、当社事業のグローバルサプライチェーンおよび戦略に対する関連する影響、または、健康危機、インフレ、金利、有価証券およびその他の金融資産の価値、貴金属、石油、天然ガス、原材料、その他の商品価格に起因する動向および変動を含む、マクロ経済および市場状況の変化および市場のボラティリティ、為替レート(特に米ドルと日本円、韓国ウォン、中国元、新台湾ドル、メキシコペソおよびユーロ)、消費者需要の減少または急激な増加、ならびにそのような変化と変動が当社の財政状態と事業に与える影響。補助金、税控除その他、政府によるインセンティブの利用可能性またはそれらの改悪。エピデミックやパンデミックなどの健康危機事象の期間および深刻度、ならびに需要、人員、事業、グローバルサプライチェーン、株価に対する当社の事業全体への影響。テロ活動、サイバー攻撃、武力紛争、政治的または金融的不安定性、自然災害、国際貿易紛争、または重大な健康上の懸念により、商業活動またはサプライチェーンが混乱する可能性。盗難、サイバー攻撃、または情報技術インフラの中断による知的財産の損失。特許を行使し、知的財産と企業秘密を保護する能力。コーニング、当社のサプライヤーおよびメーカーのサプライチェーン、設備、施設、ITシステムまたは業務の混乱。製品需要および業界の供給能力。競争力のある製品と価格設定。重要なコンポーネント、材料、設備、天然資源、ユーティリティの可用性とコスト。新製品の開発と商品化。主要顧客からの注文活動と需要。計画レベルでの四半期配当の支払いまたは計画レベルでの株式の買い戻しの能力に影響を与える可能性のある、当社のキャッシュフローと利益の額と時期、および、その他の条件。将来の配当の額と時期。買収、処分、その他の類似取引の影響。規制及び法整備の影響。予想

される顧客の需要レベルに合わせて設備投資を調整する能力。業務変更、価格設定、コスト削減策の実施を通じて利益率を向上させる能力。技術変化の速度。不利な訴訟。製品およびコンポーネントの性能問題。重要な人材の確保。収益性の高い事業を維持し、継続的な事業や製造の拡張に必要な資金を調達し、債権を期日までに支払う顧客の能力。重要顧客の損失。税、規制、国際課税基準の変更。税務当局による監査の影響。訴訟、政府規制、その他の政府措置や調査の潜在的な影響。その他、コーニングの SEC 提出書類に詳述されているリスク。

これらの諸リスクその他要因の一覧については、Form 10-K の年次報告書および Form 10-Q の四半期報告書に記載されたリスク要因と将来の見通しに関する記述を参照ください。

ウェブによる情報開示について

コーニングインコーポレイティッド（以下「コーニング」）は、重要情報の開示にあたり、企業ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルに関する米国証券取引委員会（SEC）のガイダンスに基づき、投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様に対して、当社ウェブサイト(<https://www.corning.com/worldwide/en/about-us/news-events.html>)上で、投資家にとって重大とみなされ得る情報など当社に関する重要情報につき、本プレスリリースまたは他のプレスリリースの補足情報を公表します。当社が用いるウェブサイトおよびソーシャルメディアのリストは、当社メディアおよびウェブサイト上で随時更新される場合があります。投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様におかれましては、SEC への提出書類、プレスリリース、カンファレンスコール、ウェブキャストに加え、上記ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルを通じた発表情報をご確認いただきますようお願いいたします。 <https://www.corning.com/worldwide/en/about-us/news-events.html>

コーニングについて

コーニング(www.corning.com)は、材料科学における世界有数のリーディングイノベーターとして、創業以来 175 年にわたり、人々の暮らしを変える発明を重ねてきました。ガラス科学、セラミックス科学、光学物性に関する圧倒的な専門知識と、強力な製造・エンジニアリング能力を武器に、産業に変革をもたらし人々の暮らし向上につながるような、様々な定番製品を開発してきました。研究開発およびエンジニアリングへの継続的投資、革新的な材料およびプロセスの独自の組み合わせ、そして各業界で世界をリードするお客様との深い信頼に基づく協力関係により、大きな成果をあげてきました。コーニングの能力は幅広く応用可能で相乗的な効果を発揮します。こうした能力を武器に、絶え間ない市場ニーズの変化に応えるべく進化し、変動の激しい業界において、お客様の新たなビジネス機会の創出をサポートしています。当社は現在、オプティカルコミュニケーション、モバイルコンシューマーエレクトロニクス、ディスプレイ、オートモーティブ、太陽光、半導体、ライフサイエンスの各市場で事業を展開しています。

<https://www.corning.com/worldwide/en.html><https://www.corning.com/worldwide/en.html><https://www.corning.com/worldwide/en.html>

メディア問合せ 米国 :

Gabrielle Bailey

(607) 684-4557

baileygr@corning.com

メディア問合せ 日本 :

大川真由

03-5562-2260

okawam@corning.com

IR 問い合わせ:

Ann H.S. Nicholson

(607) 974-6716

nicholsoas@corning.com